

令和 6（2024）年度

学校自己評価報告書

学校法人 中島学園 熊本歯科技術専門学校

目 次

I	令和6（2024）年度の重点目標と達成計画.....	1
II	評価項目の達成および取り組み状況.....	2
	1. 教育理念・目標・人材育成像.....	2
	2. 学校運営.....	3
	3. 教育活動・学修成果.....	3
	4. 学生支援.....	4
	5. 教育環境.....	5
	6. 学生の受入れ募集.....	5
	7. 財務.....	6
	8. 法令等の遵守.....	7
	9. 社会貢献・地域貢献.....	7
VI	学生アンケート結果（在校生および卒業生、卒業生保護者）.....	8

I 令和6（2024）年度の重点目標と達成計画

1. 学校の教育目標

【教育理念】

高い技術力と人間力を兼ね備え、感謝とチャレンジ精神を持って歯と口から地域の人々の健康に貢献する歯科医療従事者を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

○ 国家試験合格率並びに卒業率の維持

- ・「歯科技工士国家試験」・「歯科衛生士国家試験」ともに合格率 100%
- ・卒業率 100%（退学率 0%）

○ 就職率の向上並びに関連業界等との連携

- ・就職率 100%
- ・学校と歯科医院、技工所、企業等、実習施設との連携を密にし、質の良い実習を学生に提供することで、実践力のある「歯科技工士」「歯科衛生士」を養成する。

○ 安定した入学生の確保

- ・広告媒体を増やし、SNSの効果的な使用を行うことにより、歯科技工士・歯科衛生士そして学校としての認知度を上げる取り組みを引き続き行う。入学定員充足率80%以上を目指す。

Ⅱ 評価項目の達成および取り組み状況

1. 教育理念・目標・人材育成像

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標・育成人材像は明確に定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色を打ち出し、実践しているか	3
3	教育理念・教育目標は教職員・学生に対して周知されているか	3
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

(1) 現状と課題

常に関連業界と連携を取り、業界の動向には注意を払っている。歯科技工士専門教育養成校は全国的に数が少なく、特色のある教育専門課程といえる。

歯科医療養成校として、関係法令や教育理念に基づき作成されたカリキュラムで教育を行っており、業界のニーズに応じた即戦力となる人材を輩出している。

歯科技工士科においては、認知度向上に努めるため県内全中学・高校への啓発ポスターを配布しており、安定して入学生を確保できるよう継続して取り組んでいる。

(2) 今後の改善方策

教育理念等について、学校案内等で周知に努めているが、まだ十分とはいえない面がある。周知の方法も含め検討し、機会を増やすよう努めていく。

育成人材像が業界のニーズにマッチしているかどうか、一部、組織的な評価をされていない面があるため、実習機関を中心とした関連施設、業界との連携をさらに強化するとともに、業界の動向や情報収集の把握に努める必要がある。

歯科衛生士科においては、実習機関巡回の機会を活かし、業界の動きやニーズ、情報把握を継続して行っていきたい。

2. 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	目的・目標等にあった学校運営方針が策定され、また各種諸規定・規則等の整備がなされているか	3
2	運営組織や意思決定機関は、有効かつ効率的に機能しているか	3
3	人事・給与等に関する制度は整備されているか	3
4	教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	3
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

(1) 現状と課題

学校運営については、校長より学校運営方針が提案され、決定事項は常に教職員へ周知される体制が整えられている。また、本校教職員は日常業務においても連携を密にとることで、潤滑な学校運営を心がけている。

諸規程については、状況に応じ見直し、常に整備を行っているが、今年度は根本的な見直しを行うべきものが見つかった為、早急に対応する必要がある。

(2) 今後の改善方策

在籍者や卒業生の情報管理については、細心の注意を払うとともに、システムの導入も含め、効率的で安全な方法を検討していく必要がある。

昨年度より、人事や給与制度の見直しに入った為、継続して対応する。しかし、教員全体の平均年齢が上がってきており、定年等による退職が将来的に懸念される。数年先を見越し、若い人材（20～30代）の育成が急務であり、教職員の確保を検討していく。それに伴い、教職員の採用については、設置基準、技術・知識、指導力、人間性等の必要な要件を備えた教職員の確保に努める。

3. 教育活動・学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教育理念・教育目標の沿ったカリキュラムが策定されているか	3
2	1に示すカリキュラムは定期的な見直しがなされているか	3
3	カリキュラムは教職員および学生に周知されているか	4
4	授業に対する評価・点検の体制および実施がなされているか	4
5	成績評価・進級・卒業の基準は明確であるか	3
6	国家試験合格率の目標を設定するとともに、取得向上に向けての取り組みが図られているか	2
7	退学率の低減が図られているか、また低減に向けての取り組みは教職員間で共有されているか	3
8	就職率の向上が図られているか	4

(1) 現状と課題

国家試験合格率について、歯科技工士科は例年非常に高い合格率を達成している。また、歯科衛生士科に対しても全国平均並みの水準を達成している。両科ともに国家試験合格率 100%を目指しているため、今後も引き続き、きめ細かな指導を徹底していく必要がある。

本校卒業生の就職先については両科ともに常に就職率 100%をキープしているが、就職後の状況については組織的に把握できていないのが現状である。ただし、就職先の担当者から卒業生の活躍状況について機会があればヒアリングを行うなどしている。就職活動支援については、就職活動の流れ・履歴書の書き方・面接のポイント・Zoom 面接等の内容で実施している。現状のままでも問題なく対応できている。

(2) 今後の改善方策

国家試験対策にアプリを活用し、国家試験の傾向を徹底分析した模擬問題や重要事項の反復確認など効果的に取り組んでいる学生が見られた。教員間でも新たな学習システム等の情報共有を図り、検証の上、導入していく必要がある。

また、歯科医療教育の中核は授業であり、教員の最も努力すべきことは授業である。国家試験の合格率にも影響するところであるため、教員の授業力が問われるところである。多くの学校で取り入れられている授業評価を実施したいと準備を進めている。学生が教員に求めるのは教える内容や技術そして教えることの熱意等であると考えられる。個人の努力に任されるところが大きいとしつつも、今後は学校全体として教員の技術力・対応力・資質の向上を目指したい。

4. 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	進路（就職）および学生生活に関する相談・カウンセリングに関する体制が整備され、潤滑な運営が定期的に行われているか	3
2	奨学金等の経済的支援制度が整備され、支給から返還までの手続きが確立されているか	4
3	健康管理についての指導および支援の体制は整っているか	3
4	不慮の事故など、在学中の学生生活に係る災害に対して、保険に加入しているか	4
5	保護者との連携（情報提供等）がなされているか	3
6	卒業生に対しての支援体制があるか	3

(1) 現状と課題

担任制の下、各科に応じた支援態勢によりきめ細かい学生支援を行っている。学生から相談等があった場合は、学科及び事務職との情報共有を図り、速やかに対応することとしている。

近年、奨学金申込者の増加に伴い、校納金のご案内等を早めるなどの対策を講じる必要がある。また、校納金の一括納入を前提とするため、分割期納入希望者に対しての柔軟な対応が求められる。学生生活に対しての保険についても、十分対応できている。

(2) 今後の改善方策

成績不良や出席不良による留年や退学の防止のために、これまで以上に保護者または保証人と

の連絡を密にとり、日々の生活習慣の改善（特に自宅における学習習慣の確立やスマホ依存症からの脱却）を計ることが重要と考えている。また、メンタルケアとしてカウンセリングの活用が必須と考えている。いずれにしても早期対応が大切と思われる。

5. 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	教室・実習室等は、室数・広さともに教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
2	学生が実習等を行う上で、教室を含めた諸施設を提供（開放）しているか	3
3	休憩室等のスペースが置かれているか	3
4	防災に対する設備・非常時の体制は整備されているか	3

(1) 現状と課題

施設・設備の整備については、厚生労働省の指導の下、情報機器、実習機器、学習用具等を必要台数揃え十分に対応ができています。しかしながら、開設時に設置した実習機器、用具等に故障や破損等が散見され、更新時期を迎えている。教育の質を担保する上でも教育機器の計画的な更新が必要である。

(2) 今後の改善方策

機器、用具は学習に支障のないよう日頃の点検を怠らず、定期的な備品棚卸において各機器等の保証期間の確認も実施する。教育機器や養成施設指定規則に指定されている教育物品については、計画的に更新を行う。

また、引き続きリニューアルを実施していく（建物内外）。来年度は館内のLANケーブルの点検を実施予定。

6. 学生の受入れ募集

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生募集計画を策定し、適宜実施されているか	4
2	学校案内・募集要項の内容は志願者が必要とする内容が掲載され、かつ内容は適切なものになっているか	4
3	学生募集に対する対応等、体制は整っているか	4
4	オープンキャンパス・体験入学の回数や時期、また実施する内容は参加者（志願者）が学校を把握するに十分なものとなっているか	4
5	志願者状況はどうか、また定員充足率は満足できるものであるか	2

(1) 現状と課題

校納金は妥当なものとなっている。さらに、入学選考については、選考基準に基づき、厳正な審査を行っている。

オープンキャンパスを実施後、参加者にアンケートを実施、回答や参加者データをマーケティングに生かした募集活動を行っている。

ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）による機動的な情報発信を行うとともに、関連法令や学園独自のセキュリティポリシーやガイドラインを順守する。

就職内定率や各国家試験合格率を学校案内パンフレットや、ウェブサイトにて公開している。

入学定員充足率については未だ達成しておらず、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画にもあるように、引き続き80%以上を目指していく。

(2) 今後の改善方策

校納金を見直し、増額したことによって、より一層の教育成果を向上させるための取り組みを行う。

また、急増している「国の高等教育修学支援新制度（無償化）」など、各種減免制度の表記も含めて、校納金の案内について見直しを行う。

7. 財務

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

(1) 現状と課題

毎年度初めに予算を作成し、それに従って実行している。また、学園（法人）監査による監査を適正に実施している。広報活動費、校舎の維持管理費等、必要経費の予算確保が必要となる。また、関係法令の遵守、適正な運営、監督官庁への報告等遅滞なく行っている。

(2) 今後の改善方策

学校法人は公共性、公益性が高く、その使命と役割から考えると、大きな社会的責任を有している。社会的責任を果たすためには、全教職員が、経営・財務的な側面についても理解を深め、一人ひとりが自覚を持って日々の職務に邁進できるような環境を保つことが大切であると考えている。本校及び法人運営においては常に学園の財務状況を把握し、健全性を保つために努力することが不可欠である。まずは、入学定員充足率80%以上を安定確保し、財務基盤の安定性を保ち、教育の充実及び向上を図りたい。

8. 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	法令・専修学校設置基準の遵守がなされているか	4
2	個人情報に関して、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

(1) 現状と課題

法令等を遵守し、適正な運営が行われている。個人情報を含めたデータ管理についてのセキュリティ対策は万全の態勢で取り組んでいる。

(2) 今後の改善方策

学校評価委員会を各年度複数回開催し、問題点に関しての更なる検討・改善に努める。

9. 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

No.	評価項目	評定
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
2	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっているか	3

(1) 現状と課題

校内において、特別講義、キャリアガイダンスなどを実施している。高校生に対しての職業体験や教育などは積極的に行っている。

教育面としても、歯科医療現場のみならず、地域の保健センターや障がい者施設、他団体主催のイベント等における歯科保健指導の取り組みに参加する等、地域とのつながりを重視した教育を推進している。

(2) 今後の改善方策

ボランティア活動については、建学の精神に基づき、積極的に奨励、支援している。原則としては、学生の自主性に任せることを基本としているが、他団体や他施設等からのボランティア依頼については学生に案内し、参加を促している。今後も引き続き情報提供を行うとともに、側面的な支援を実施したい。

VI 学生アンケート結果（在校生および卒業生、卒業生保護者）

本校ホームページ上に Google フォームで作成したアンケートに各自回答する方法で、最大が 4.0 となっている。

（1）在校生アンケート（2025 年 3 月実施）

（DT…歯科技工士科、DH…歯科衛生士科とし、数字は学年を表す）

	DT1	DH1	DH2
実習や国家資格取得の教育を中心に、他校にない専門学校の特色を活かしているか。	3.3	2.5	3.0
専任教員は、熱心に学生の指導に取り組み、授業にも工夫がなされているか。	3.7	2.7	2.8
外部講師は、熱心に学生の指導に取り組み、授業にも工夫がなされているか。	3.1	2.8	3.0
教育課程・学習内容は卒業後の希望を実現できるものになっていると思うか。	3.6	2.7	3.1
成績不振者への指導・支援が十分に行われているか。	3.7	2.3	3.1
学生の希望に応じた進路に関する指導が行われているか。	3.6	2.6	3.1
学校生活を通して、生活指導が適切に行われているか。	3.1	2.6	3.0
新入生歓迎会、スポーツ大会、研修会、講演会などの学校行事は、内容が充実しているか。	3.3	2.9	3.2
ホームページ等のSNSを通して、保護者や外部の方々に、必要な情報を提供できていると思うか。	3.4	2.8	2.9
施設・設備は、安全で快適な学校生活ができるように整備されているか。	3.8	2.6	3.0
交通安全、防災、感染症防止等に関する対策や安全教育が適切に行われているか。	3.6	2.7	3.2
本校の教育活動は、総合評価すると満足できるか。	3.5	2.6	2.9

（2）卒業生アンケート（2025 年 3 月実施）

（DT…歯科技工士科、DH…歯科衛生士科とし、数字は学年を表す）

	DT2	DH3
実習や国家資格取得の教育を中心に、他校にない専門学校の特色を活かしているか。	3.7	2.7
教員は、熱心に学生の指導に取り組み、授業にも工夫がなされているか。	3.8	2.8
教育課程・学習内容は卒業後の希望を実現できるものになっていると思うか。	3.8	2.9
成績不振者への指導・支援が十分に行われているか。	3.8	2.9
学生の希望に応じた進路に関する指導が行われているか。	3.8	2.9
基本的な生活習慣が身につけられるように、生活指導が適切に行われているか。	3.7	3.1
新入生歓迎会、スポーツ大会、研修会、修学旅行、講演会などの学校行事は、内容が充実しているか。	3.8	3.4
ホームページ等のSNSを通して、保護者や外部の方々に、必要な情報を提供できていると思うか。	3.5	3.3
施設・設備は、安全で快適な学校生活ができるように整備されているか。	3.5	3.0
交通安全、防災、感染症防止等に関する対策や安全教育が適切に行われているか。	3.8	3.0
本校の教育活動は、総合評価すると満足できるか。	3.7	3.0

（3）卒業生保護者アンケート（2025 年 3 月実施）

（DT…歯科技工士科、DH…歯科衛生士科とする）

	DT保護者	DH保護者
学校が目指している教育方針や教育理念などある程度理解していた。	3.2	3.3
学校は学生の教育活動（成績・出席状況など）の様子を適時知らせていた。	3.5	3.3
学生が満足するよう、学校生活の工夫を行っていた。	3.4	3.4
教職員は職責感をもって、指導の充実に努力していた。	3.7	3.3
教職員は学生・保護者に誠意をもって接していた。	3.6	3.3
国家資格取得のための指導は適切に行われていた。	3.9	3.3
学生の相談に関する体制が整備され、有効に機能していた。	3.3	3.0
学生が主体的に選択できる適切な情報（進路・就職など）の提供が行われていた。	3.4	3.2
学校の施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていた。	3.3	3.4
本校在学中の学納金は適切であった。	3.0	3.1
この学校に入学させてよかったと思う。	3.8	3.5